

8月9日(土)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほほ

日刊サマーミュージア

Hobo Nikkan Summer Muza



濃密に目くるめく、真夏の夜の熱演



8/8 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

© 池上直哉

夏のフェスティバルでメシアンの「トゥランガリーラ交響曲」(曲名は今回の表記に従う)……この大胆なプログラムは、サマーミュージアの矜持と沼尻竜典 & 神奈川フィルの意気込みを感じさせる。そして本番も濃密なサウンドによる稀有の熱演だった。

まず今回が12回目の同曲指揮だという沼尻の自信と確信に満ちたリードが素晴らしい。テーマの歌わせ方や強弱が明瞭で、いかなる場面も密度の濃い音楽が展開され、不安定さがまるでない。従って神奈川



© 池上直哉

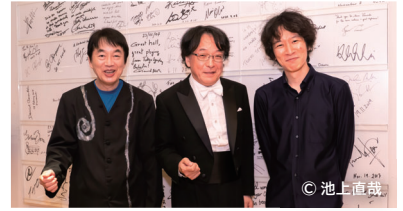
フィルの功績も大。全パートが生氣漲る締まった音で集中力の高い演奏を繰り広げた。

ピアノの北村朋幹は、同曲の初演奏だが、芯のある音で雄弁なソロを奏で、「協奏曲ではないがソリストである」という微妙な立ち位置を

見事に演じ切った。同曲の代名詞とさえいえるオンド・マルトノの原田節は融通無碍の趣。両楽器とオーケストラとのバランスが難しい曲だが、今回はその案配が絶妙だった。

第1楽章から切れ味の良い、目くるめくような音楽が耳を奪う。第2楽章は明朗な場面と落ち着いた場面の対照や、速い部分の推進力が出色。第3楽章には重層感があり、第4楽章はピッコロ、ファゴット、ウッド・ブロックの精妙なアンサンブルとその後の場面のリズムの良さに惹かれる。第6楽章は夢幻的で、第9楽章は神秘的。色彩感豊かで華やかな第5楽章は中間の熱いピーク、同様の第10楽章は熱狂的な大団円だ。

これら全てにリアリティのあるミュージアの音響が寄与したのも間違いのない。それにしても「トゥランガリーラ交響曲」は真夏の夜にことのほかよく似合う。(音楽評論家 柴田克彦)



© 池上直哉

指揮：沼尻竜典(中央) ピアノ：北村朋幹(右)
オンド・マルトノ：原田 節(左)

ご来場者の声

夏祭りに来たら宇宙旅行だった！凄いモノを聴かせてもらいました！名手原田さんのオンドマルトノ、北村さんの超絶技巧ピアノ、そしてこの曲を知り尽くす沼尻さんと神奈川フィルさんの熱演が紡いだ大スケールの世界観を堪能できました！(50代・会社員・たこさび) / 中学生の頃、聴いて大好きになりました。アートライブラリーに通ってCDを聴いていたころを思い出しました。人生初の生演奏でしたが本当にすばらしかったです。血のわき立つ演奏でした。Bravo!! (20代・会社員) / よくわからないが、とにかく凄い演奏だった。いま聞いているのが何曲目なのか途中から全然わからなくなったが、それぞれの曲の楽しさ、面白さ、聴きごたえはびんびん伝わってきた。全編通じて天国的なハーモニーとでもいうのだろうか、とにかくすばらしかった。とくに打楽器系の皆さんの修練ぶりがうかがえて、ご苦労様かつ忙しかったですね。とねがりたいです。(60代・アルバイト) / 豪胆さと繊細さが交互にやってくるトゥランガリーラ交響曲に、酷暑で夏バてしている脳ミソをかき混ぜられた気分。終わったら気分爽快。これはクセになりそうですねー！(主婦・どうらく) / 古くからの神奈川フィル・ファンとして、この大作を聴ける日が来るとは感慨深い。しかも、最高のホールで。(中略)ウッドブロックをはじめとする各打楽器がくっきりと聞こえてきて呆然。このピアノ・サウンドはしばらく忘れない。後半のほうがとつきやすくなるのは新たな発見(ミュージアさまサマ) / 非常に良かったです。初めて観た楽器といろいろな音で楽しい時間でした。浴衣で伺ったらシールいただきました。浴衣でクラシックが楽しめるのも良い企画と思いました。(50代・会社員・このはな)

フェスタ・サマーミュージア KAWASAKI 25 明日の公演情報

サマーナイト・ジャズ

トップジャズプレイヤーとゲストシンガーによる
ジャズ&ポップス 夢の一夜

8/10(日) 18:00開演 (プレコンサート 17:20～
ピアノ：小川紅葉、金田龍二、瀬戸萌歌)

ピアノ・音楽監督：宮本貴奈 ゲスト・ヴォーカル：クリス・ハート、福原みほ
サクソフォーン：馬場智章 ベース：小川晋平 ドラムス：川口千里

■ガーシュウィン：サマータイム ■クリス・ハート：I LOVE YOU
■福原みほ：優しい赤 ■Killing Me Softly(ロバータ・フラック追悼) 他

全席指定 5,000円
U25(小学生～25歳) 2,500円

TEL・WEB予約 当日16:00まで
当日券カウンター 17:00より

宮本貴奈



©Toshiya Suzuki

クリス・ハート



福原みほ



馬場智章

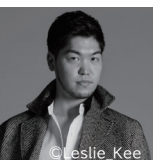


©Kei Sakakura

川口千里



小川晋平



©Leslie Kee

当日券あり



これぞ王道。楽聖の情熱がよみがえる

2026年を迎えて最初の「名曲全集」は、王道のベートーヴェン・プログラムをご用意いたしました。まずは、長年第一線で活躍を続ける清水和音を迎えてのピアノ協奏曲第5番「皇帝」。ベートーヴェン本人が初演でソリストをつとめなかったのはこの第5番だけなんだとか。信頼のおける奏者に自作をゆだねたベートーヴェンの思いを回顧しつつ、お聴きいただければと思います。

そして後半はこれまた人気の高い「交響曲第7番」。各楽章の根底に「リズム」の強い力がみなぎっており、後年ワーグナーに「舞踏の神化」と言わしめたほど。古今東西様々なマエストロによって演奏されてきたこの名曲を、大植英次はどのように魅せてくれるのでしょうか。さまざまな映画・映像作品で取り上げられていますので、オーケストラ曲に馴染みのない方でも、きっとどこかで耳にしたフレーズに触れられるはずです。来年の「聴き初め」はぜひミュージザで！ (広報U)



指揮：大植英次



ピアノ：清水和音

©Mana Miki

ミュージザ川崎シンフォニーホール
& 東京交響楽団

名曲全集 第214回

2026.1.17 (土) 14:00開演

指揮：大植英次 ピアノ：清水和音 管弦楽：東京交響楽団

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番「皇帝」

ベートーヴェン：交響曲第7番

S¥6,500/A¥5,500/B¥4,500/C¥3,500
25歳以下当日券¥1,000Webアンケート回答者限定
壁紙プレゼントキャンペーン

各公演のアンケートに Web で
お答えいただいた方全員に
サマーミュージザ特製オリジナル
壁紙をプレゼント！

今年限定の画像です！

ぜひこの機会にゲットしてください♪

翌日発行予定！

『ほぼ日刊サマーミュージザ』に
あなたのレビューが載るかも！？

アンケートの最後に「本日のひとこと感想」を入力して
いただくページを設けております。よろしければ、ぜひ
感想をお寄せください！！



パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki



鴨せいろ(二八そば変更)と天ぷら盛り合わせ
(鴨せいろ:¥1,250(二八そば変更¥100)
天ぷら盛り合わせ:¥750) ※消費税別

美味しいおそばで勝利を確信！

夏の暑さに打ち勝つためには冷たいおそばを
すするのがいちばん！本日はJR川崎駅北改札の
正面にある「そばじ アトレ川崎店」をご紹介します。

今回注文したのは「鴨せいろ」のそばを「二八そ
ばに変更」と「天ぷら盛り合わせ」。そばを二八そ
ばに変更すると風味と香りが良い本格的なそば
をいただける。天ぷらはカリッとした食感の衣と、
ふんわりとした食材のバランスがとても食欲をそ
そる。柑橘系の香りが効いた鴨せいろのつけつゆ
に天ぷらを浸すと、この食事の勝利を確信し、O.
レスピーギ作曲の「ローマの松」第4楽章が聴こえ

てきそう。ミュージザのコンサート鑑賞後は是非
ご賞味いただきたいお店です！(舞台・ばんぽこ)



そばじ アトレ川崎店

F アトレ川崎 3F (北口通路側)

PARTNER SHOP 特典

ワンドリンクサービス (ソフトドリンク)

※「優待ラシ」持参者および同伴者
※営業時間内は終日可

フェスタサマーミュージザ公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージザ

で検索&投稿

お待ちしております！



X: @summer_muza

Facebook: @kawasaki.sym.hall

Instagram: @muzakawasaki

YouTube: @kawasakisymhall

フェスタサマーミュージザKAWASAKIの名物企画はいくつかありますが、出張サマーミュージザ@しんゆり！もそのひとつです。8月3日(日)はユベール・スダーン指揮で川崎市フランチヤイズオーケストラの東京交響楽団公演、本日8月9日(土)は飯森範親指揮でパシフィックフィルハーモニア東京公演。ミュージザにとっては、両指揮者ともに馴染み深い方々です。ユベール・スダーン氏は東京交響楽団の前音楽監督でいまは桂冠指揮者、飯森範親氏は東京交響楽団の前正指揮者でした。お二方ともに長く務めておられたので、ミュージザにも本当によくおいで頂きました。さまざまな思い出やエピソードが記憶に残っています。中にはミュージザのスタッフとして、ここに上げるにはちょっと恥ずかしいエピソードなどもありました(笑)。そんなことを思い出しながら、本日はミュージザ公演に当たりたいと思います。(HO課・しよた)

スタッフ日誌